

ひらか 連携ニュース

今年も、地域医療機関との病診・病病連携の推進・強化を目的に連携フォーラムを開催いたしました。今年度も当院より2名、地域医療機関より1名の先生方に、日頃の診療状況や病診連携についてご講演をいただき、参加者の好評を得ました。今回は、連携フォーラムについてご紹介いたします。

第6回 連携フォーラム ひらか 開催！

日時：平成29年6月9日（金）18：30～

場所：横手セントラルホテル ラポート

参加者：地域医療機関の医師 20名

横手市地域包括支援センター在宅医療連携推進担当 1名

院内関係者 42名

計 63名



プログラム

1. 開会挨拶 平鹿総合病院
院長 齊藤 研
2. 講演
 - ・ 当院における肺がん診療の現状
平鹿総合病院 外科科長 川原田 康
 - ・ 当院循環器内科における
心臓デバイス治療について
平鹿総合病院 循環器内科科長
深堀 耕平
 - ・ 当院における病診・診療所間の
連携について
小田嶋まさる内科 院長 小田嶋 傑
3. 意見交換
 - ・ 地域医療機関より当院に対するご意見
横手市医師会会長 西成 忍
4. 閉会



平鹿総合病院
外科科長
川原田 康医師



平鹿総合病院
循環器内科科長
深堀 耕平医師



小田嶋まさる内科
院長
小田嶋 傑医師



今回のフォーラムでは、川原田Drより当院を含め、秋田県全域で呼吸器内科医が不足している現状や当院外科での肺がん患者の診療体制について説明がありました。また、深堀Drより、不整脈患者に対する最新のデバイス治療について説明があり、参加者から「大変興味深く、参考になった」とのご意見をいただきました。小田嶋まさる内科院長の小田嶋Drからは、消化器疾患における当院の消化器内科・外科との連携や、在宅での看取りについてご紹介いただき、病診連携の重要性を改めて認識する機会となりました。

アンケート結果

- ・現在の病院の現状が理解できた。
- ・毎日の診療に役立ち、大変勉強になった。
- ・開業医の先生が訪問診療や看取りなど努力されていることを知り、連携の必要性を再認識した。

＜今後、希望するテーマ＞

- ・病院の診療体制の変化、最近の話題
- ・認定看護師の紹介
- ・退院支援
- ・施設や在宅での看取り
- ・症例検討会等